

社団法人松山青年会議所2003年度理事長所信

社団法人松山青年会議所

長野 貴

変革と活性化

～踏み出そう半世紀からの第一歩～

1952年7月、戦後の復興が進む中、常に進んでやまざる青年たちは郷土の未来の発展に向けて大いなる力を発揮せんが為に同士相集い松山青年会議所を結成しました。それから50年、高度経済成長やバブル、IT革命など時代の変化とともにJCのスタンスは変わってきたのではないかと思います。現在、経済はすさまじいスピードで変化を繰り返していると言われてはいますが、一方で変革をおそれず常に活性化する小さな規模のベンチャー企業が発展するチャンスのある時代であるとも言われています。本年、松山青年会議所は創立51周年を迎えます。新たな半世紀を踏み出す第一歩の記念すべき年を、我々の夢をつかむ大きなチャンス的一年に変革しようではありませんか。

○基本構想

- ・会員相互の交流を深めLOMを活性化する。
- ・まちづくりのプレーン集団としてLOMを変革する。
- ・地区フォーラムを通じて地区内メンバーと交流を深め四国地区50周年を祝う。
- ・50周年を振り返り新たに踏み出す第一歩として地域づくりビジョンを策定する。
- ・先輩たちが遺してくれたすばらしいものを再発見しよう。

○組織の活性化

近年インターネットを中心とする情報技術の進展であらゆる情報が迅速に安価に手に入るようになりました。以前から企業を支えるのは人・金・物・情報と呼ばれてはいますが情報が高価であったからこそ、貴重な情報を手中に収めるものだけが時代を先取りする力を持ちえました。現在は情報が共有化され必要な情報さえあれば現場担当者でも迅速に正確に意思決定できる時代なのです。課題を顕在化させ組織全体がその目的に同意し共鳴すれば組織は強固なものとなり、個人と組織の目的が合致すればさらに強くなると確信します。同時にあらゆる情報を共有化するような組織をつなぐネットワークを構築し、会員間の情報伝達速度を速め、今まで以上にコミュニケーションを深めていく必要があると思います。また、会員企業の自助努力を促す勉強会の実施やネットワーク作りの基盤を整え、より会員相互の企業価値を高める方向で情報交換できる機会を持ちたいと思います。その結果、青年会議所に入会する企業と企業が互いに協力し合い、地域を巻き込んで経済発展の原動力となる事例作りにも挑戦したいと思います。

○社会起業家

私たち青年会議所は中小零細企業の経営を担う行年経済人の集まりです。そのメンバーが仕事の合間を縫って「明るく豊かな社会の実現」を目指し活動を行っています。私たちの力の源は家庭であり企業です。その企業が元気になるためにも地域経済の再生や創造、地域産業政策や経済政策を我々自身で構築し実践していくことが重要であると思います。2000年代運動指針やJCアクションプラン21でも採択されたように「社会起業家」(ソーシャルアントレプレナー)として活躍できる新産業分野を創造することがこれからの地域を活性化するとされてきました。ソーシャルとは社会のニーズを的確に捉え社会をとりまく課題を克服するような取り組みを創造することをさしますが、これからの企業はソーシャルでないと生き残れないとも言われています。自社の業容に少しでもソーシャルを取り入れ社会から必要とされる企業に転換していく必要があると思います。

○会員相互の交流

家族会やスポーツ大会を通じて会員相互の交流を深め、JCならではの会員交流によって、JC活動により良い理解を深めていただきたいと思います。今松山JCにはmjcdメインのホームページをはじめ、マリネットやエイドインターネットなどの情報交換ツールが充実していますが使いこなせていないように思います。PCに対する勉強はもちろん基本的な操作方法や活用事例などを極めることでさらにLOMのみならずまちの活性化につながるものと確信します。また、地域部会を設立し、食事会や情報交換会などを通じて交流を図り、地域の個性的な流通事情にも一役買う提案ができればなおすばらしいと思います。

○人間力の追求

青年会議所に入会して学ぶことのひとつに会議手法の習得があります。会議のプロセスでは議論を重ねコラボレートし、それをどうマネジメントするかが会議をまとめていく重要なファクターです。しかしながら時には結論を決めて会議に臨んだり愚痴で終わってみたいり学芸会のような御座りな会議もあり時間の無駄を感じることもあります。一方優れた会議では意思と意思とのぶつかりあいや創造的な発想から新たな発見が生まれてくることがあります。そこには気づきや対人能力を高めあう力が作用し、グループをまとめる能力、又グループ間での競争や協働を効果的にコントロールする能力など優れた指導力が発揮されていると思います。昨年从我々は自分と他人、自分と社会をうまく結びつけるとともに効果的な会議の進行と発展的な議論が交わされることを目指して「人間力開発」に取り組んでまいりました。本年度もさらに会員みなでこの人間力に磨きをかけ、JCに仕事に優れた力を発揮して参りたいと思います。

○まちづくりのプレーン集団＝松山JCを目指して

50周年の記念事業や式典を通じて様々な発見がありました。単年度で終わる事業も、継続されていく事業も時代に合った形でそのときのメンバーによって単年度で変化を繰り返してきました。

優れた事業は皆から評価されますし、エネルギーを必要とする事業は後から達成感湧いてきます。松山青年会議所では「俳句甲子園」や「春まつり」などの優れた事業を育てて参りました。今後も子どもたちにいきいきとしたまつやまを遺していくためにもエネルギーなまちづくり活動を生み育て継承していく必要があると思います。2002年度に蓄積したノウハウを元に LOM 内で褒賞制度を設け優れた事業に対しては評価し、対外的にもアピールする専門組織を設けてまいりたいと思います。また継承してゆくべき事業は、できるだけ受け入れ法人(NPO)を設立し、その法人が独立して採算を立てて事業を続けていただくことも検討してまいりたいと思います。そうした事業のアウトソーシングの結果 JC の担う役割はプレーン集団として事業を創造することにまた外部に発信することに重きを置き、行年会議所のネームバリューを活用して参りたいと思います。

○チェックを怠らず次に生かす

松山青年会議所は事業計画や収支予算を総会の承認を経て、監督官庁に報告しています。また毎月行われる理事会においては年間の事業計画書に基づいて予算を審議し、各事業報告や収支も審議、承認しています。本年度は財政運営会議を置き計画や予算を直接監督する専門部隊を設け、その組織のメンバーで事業内容も含めて慎重にチェックすることに取り組んで参りたいと思います。予算決算をより専門的に且つ公正に分掌し判断し、事業の反省を次に生かすことを試みます。

○気づきと感動のある教育

教育改革フォーラムを通じて学んだことを生かしながらさらに「個と公」の調和や地域の先生作りという概念を地域に下ろしていきたいと思います。具体的には公民館が主体のまつりや、地域の子供を巻き込んだ活動に取り組んでおられる方々と協働し、また機会を設けてまちづくりを議論し、ネットワーク作りから初めて参りたいと思います。また、2002年度では青少年、福祉、環境の事業としてキャンプを積極的に導入いたしました。2003年度もこれらをミックスして子どもたちに感動を与え、いろいろな気づきにもめぐり合えるキャンプ事業に取り組んでまいりたいと思います。

四国地区フォーラム 2003年度は四国地区フォーラムを松山青年会議所が主管いたします。初代地区会長を輩出した LOM として四国最大の都市として四国州実現に向け四国の皆さんと 50周年を祝い、懇親を深めたいと思います。日本青年会議所における地区の役割が変わろうとしています。本年度地区会長の意向では来年度以降も四国地区だけは地区フォーラムを懇親の場として継続していきたいという方向性の下、松山で行われる地区大会をその基点とし実施して参りたいと思います。

○地域(まち)づくりビジョン

2001年にメンバー全員の意見を繋ぎ合わせた「2010年まつやままちづくりビジョン」を策定することによって、2002年の松山青年会議所のメンバーは今までよりも積極的に且つ大胆に各事業に対して

取り組むようになったと思います。2003年度は更に検討を重ね、「まつやままちづくりビジョン」を完成度高いものにバージョンアップさせていきたいと思っています。まず JC メンバーの委員会の意見集約をしっかりと行いまとめたものを再度 LOM 全体にフィードバックし、松山 JC としてのビジョンを再検討した後に地域の皆さんの意見も集約してまつやま周辺地域も含めた地域づくりビジョンを策定したいと思っています。

混沌とした 2002 年から台風一過のごとく景気が回復するとは思いません。パソコンのようにリセットしても続きから始められればいいのですが社会はそこまで甘くありません。「まち」の未来も子供たちの将来も我々青年の双肩にかかっているのです。今が苦しくても足元だけを見ることなく先の光明を探し出し、先達する。今こそ私たちの強みを生かし、この時代に JC に身をおく意義を認識し、JAYCEEらしく実践してまいりましょう。

鋭く閃く、早く動く、清く咲く